

高校生の就職慣行（一人二社）に関する アンケート調査結果

事業所の皆様へ

就職慣行である「一人一社制」は、令和6年度高等学校卒業生から『**9月5日以降(文書到達主義)一人二社まで応募・推薦を可能**』としています！
(茨城県独自の取り組み)

茨城県就職問題検討会議では、新規学校卒業者の就職機会を確保するとともに、地域の状況等を踏まえた就職支援、職業紹介が円滑に推進されるよう、関係者の連携体制を確立し、必要な事項の連絡・検討・協議等を行っています。

この会議を令和7年2月14日に開催し、令和8年3月新規高等学校卒業者の応募・推薦方法の在り方について、協議した結果、前年度と同様の「申し合わせ(一部抜粋)」に決まりました。

- 1 推薦開始期日について
 - ・令和7年9月5日以降(文書到達主義)とし、当該期日から一人二社までの複数応募・推薦を可能とする。
 - 2 選考開始期日について
 - ・令和7年9月16日以降であること。
 - 3 複数応募が可能な求人について
 - ・指定校求人以外の公開求人とするが、求人者が複数応募を可とする求人に限る。※
 - 4 複数応募が可能な生徒について
 - ・指定校求人に応募していない者。
 - ・公開求人の求人者が複数応募を不可としている求人に応募していない者。
 - ・応募時点において、採用が内定していない者。
 - 5 採用選考について
 - ・求人者は採用選考の実施及び選考結果の通知を、速やかに学校を通じて応募者に文書をもって通知すること。
 - ・求人者は単願・併願を採用選考の判断基準としないこと。
 - ・求人者は求人数を上回る採用内定を出した場合でも内定の承諾があった内定者全員を雇用すること。
 - 6 生徒の意思表示について
 - ・内定通知を受けた生徒は、内定の承諾について学校を通じて連絡すること。
 - ・なお、2社から内定を受けた生徒は、いずれかの求人者に対して内定の承諾の通知を、もう一方の求人者に対しては内定の辞退通知を、速やかに学校を通じて行うこと。
- ※上記3の注意点
求人者が複数応募を「否」とする場合は、従来どおり「一人一社」の公開求人とする。

070303 茨城労働局職業安定課 作成

茨城労働局職業安定部職業安定課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果	2
	従事している職種	2
	事業所規模別	2
1.	9月5日以降に一人二社まで複数応募・推薦できることを知っていたか	3
2.	複数応募を主にどのような方法（経路）で知ったか	4
3.	9月5日から9月30日の間一人二社までの複数応募・推薦を利用したか	5
4.	一人二社を利用するうえでの主な相談相手	6
5.	一人二社までの複数応募を利用した状況	7
6.	複数応募で採用内定を受けた会社を就職先に選んだか	8
7.	今の会社に長く勤めたいと思うか	9
8.	複数応募を利用した感想	10
9.	複数応募の改善点・意見等	11
10.	応募前の職場見学社数	12

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、2024年度（令和6年度）の高等学校卒業生から、従来の就職慣行である「一人一社制」を「推薦開始期日である9月5日以降（文書到達主義）一人二社まで応募・推薦を可能」に改正したことから、茨城県内の高等学校に在学中、この制度（一人二社）を活用した状況や問題点等を把握することを目的に実施した。

2. 調査の対象及び方法

令和7年3月に高等学校を卒業した者のうち、学校又はハローワークの紹介により茨城県内に就職した者を対象とした。

（1） 調査の実施期間

原則として、令和7年11月から令和7年12月下旬頃までとした。

（2） 調査方法

「高校生の就職慣行（一人二社）に関するアンケート調査」により実施した。

（3） 調査対象者数

高校卒1,385人から回答が得られた。これは、県内就職者数として把握している3,077人の45.0%にあたる。

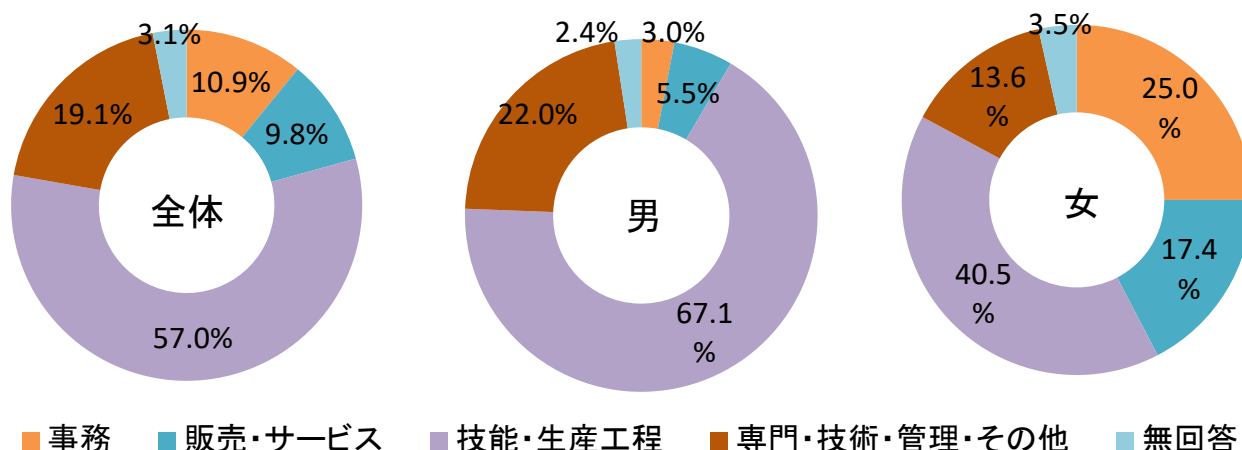
	計	男	女	無回答
県内就職者数	3,077	1,918	1,159	0
回答者数	1,385	861	484	40
実施率	45.0%	44.9%	41.8%	-

Ⅱ 調査結果

調査対象者の従事している「職種」

「技能・生産工程」の職種に従事している者が大多数を占めている。

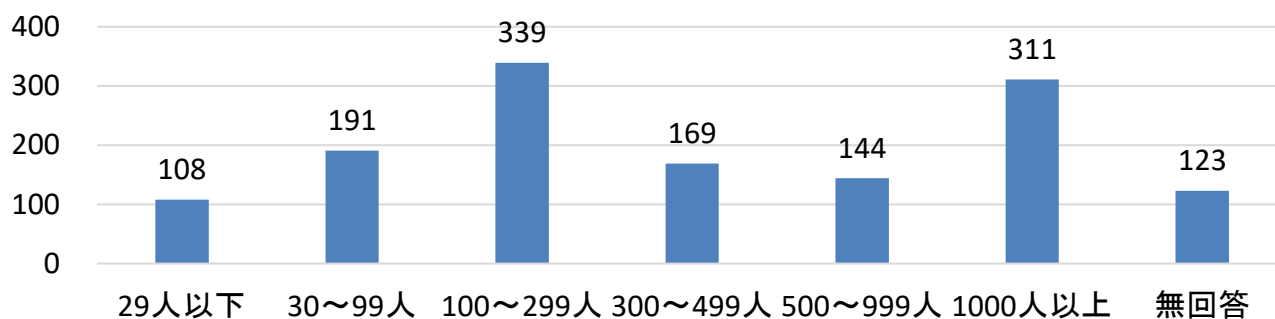
男女別にみると、男子の第1位は「技能・生産工程」で67.1%、第2位に「専門・技術・管理・その他」で22.0%、女子では第1位に「技能・生産工程」で40.5%、第2位に「事務」で25.0%となった。



回答項目	計		男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
事務	151	10.9%	26	3.0%	121	25.0%	4	10.0%
販売・サービス	136	9.8%	47	5.5%	84	17.4%	5	12.5%
技能・生産工程	790	57.0%	578	67.1%	196	40.5%	16	40.0%
専門・技術・管理・その他	265	19.1%	189	22.0%	66	13.6%	10	25.0%
無回答	43	3.1%	21	2.4%	17	3.5%	5	12.5%
計	1,385	100.0%	861	100.0%	484	100.0%	40	100.0%

調査対象者の「事業所規模」

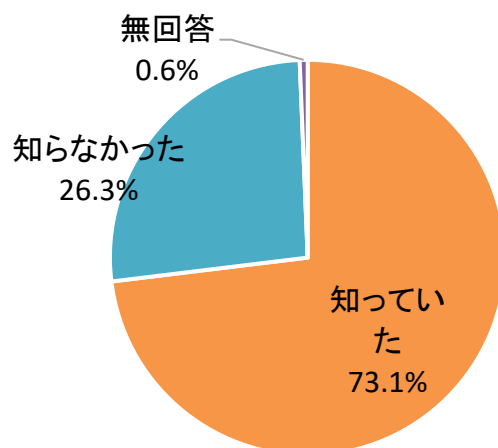
第1位に「100～299人」規模の24.5%、第2位は「1000人以上」規模の22.5%、第3位は「30～99人」規模の13.8%となった。



回答項目	計		男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
29人以下	108	7.8%	58	6.7%	45	9.3%	5	12.5%
30～99人	191	13.8%	117	13.6%	67	13.8%	7	17.5%
100～299人	339	24.5%	205	23.8%	127	26.2%	7	17.5%
300～499人	169	12.2%	101	11.7%	63	13.0%	5	12.5%
500～999人	144	10.4%	91	10.6%	50	10.3%	3	7.5%
1000人以上	311	22.5%	222	25.8%	83	17.1%	6	15.0%
無回答	123	8.9%	67	7.8%	49	10.1%	7	17.5%
計	1,385	100.0%	861	100.0%	484	100.0%	40	100.0%

1. 高等学校在学中、推薦開始日(9月5日)から9月30日に一人二社まで複数応募・推薦できることを知っていましたか。

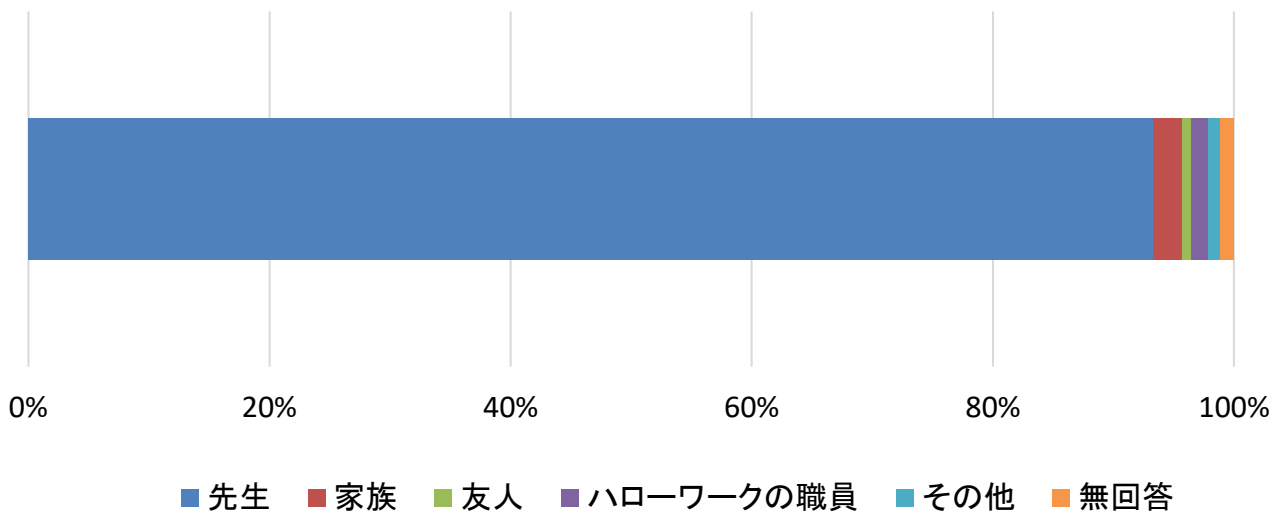
「知っていた」が73.1%、「知らなかった」が26.3%となった。



回答項目	計		男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 知っていた	1,012	73.1%	587	68.2%	400	82.6%	25	62.5%
2 知らなかった	364	26.3%	268	31.1%	83	17.1%	13	32.5%
無回答	9	0.6%	6	0.7%	1	0.2%	2	5.0%
計	1,385	100.0%	861	100.0%	484	100.0%	40	100.0%

2. 推薦開始日(9月5日)以降一人二社までの複数応募・推薦ができることを主にどのような方法(経路)で知りましたか。

「先生」が93.3%、「家族」が2.5%、「ハローワークの職員」が1.4%となった。



回答項目	計		男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 先生	944	93.3%	541	92.2%	379	94.8%	24	96.0%
2 家族	25	2.5%	16	2.7%	8	2.0%	1	4.0%
3 友人	7	0.7%	5	0.9%	2	0.5%	0	0.0%
4 ハローワークの職員	14	1.4%	7	1.2%	7	1.8%	0	0.0%
5 その他	11	1.1%	8	1.4%	3	0.8%	0	0.0%
無回答	11	1.1%	10	1.7%	1	0.3%	0	0.0%
計	1,012	100.0%	587	100.0%	400	100.0%	25	100.0%

その他の回答

インターネット

学校での就職説明会

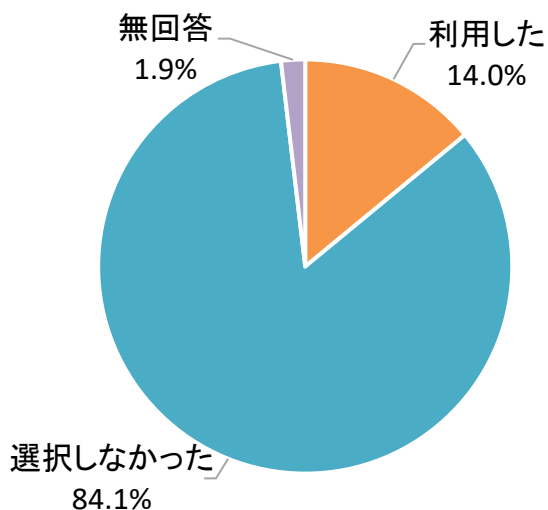
新聞・ニュース

SNS

求人票で知った

3. 高等学校在学中、推薦開始日(9月5日)から9月30日の間一人二社までの複数応募・推薦を利用しましたか。

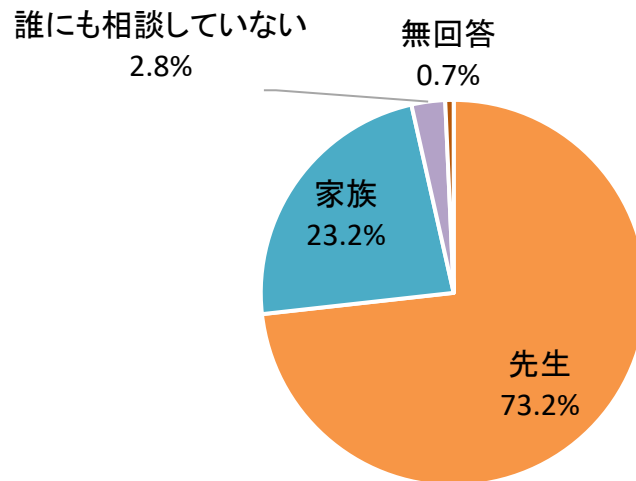
「選択しなかった」84.1%、「利用した」が14.0%となった。



回答項目	計		男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 利用した	142	14.0%	92	15.7%	48	12.0%	2	8.0%
2 選択しなかった	851	84.1%	484	82.5%	346	86.5%	21	84.0%
無回答	19	1.9%	11	1.9%	6	1.5%	2	8.0%
計	1,012	100.0%	587	100.0%	400	100.0%	25	100.0%

4. 推薦開始日(9月5日)から9月30日の間に、一人二社までの複数応募・推薦を利用するうえでの相談相手は主に誰でしたか。

高等学校在学中、推薦開始日(9月5日)から9月30日の間一人二社までの複数応募・推薦を利用した人のうち、「先生」や「家族」が主な相談相手となっている。「先生」が73.2%、「家族」が23.2%の順となっている。

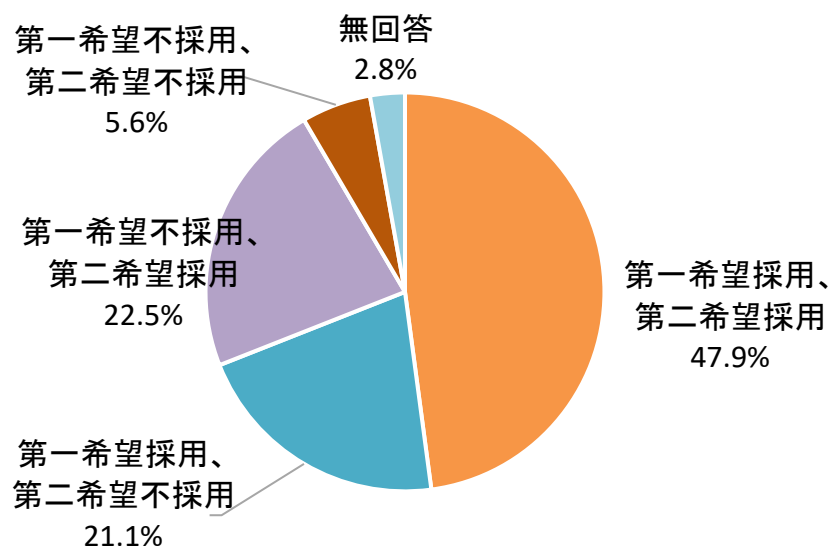


回答項目	計		男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 先生	104	73.2%	72	78.3%	30	62.5%	2	100.0%
2 家族	33	23.2%	19	20.7%	14	29.2%	0	0.0%
3 友人	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 ハローワークの職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 誰にも相談していない	4	2.8%	1	1.1%	3	6.3%	0	0.0%
6 その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	1	0.7%	0	0.0%	1	2.1%	0	0.0%
計	142	100.0%	92	100.0%	48	100.0%	2	100.0%

5. 推薦開始日(9月5日)から9月30日の間に、一人二社までの複数応募を利用した状況はどうでしたか。

高等学校在学中、推薦開始日(9月5日)から9月30日の間一人二社までの複数応募・推薦を利用した人のうち、「第一希望採用、第二希望採用」が47.9%、「第一希望不採用、第二希望採用」が22.5%、「第一希望採用、第二希望不採用」が21.1%となり91.5%の人が第一希望か第二希望に採用された。

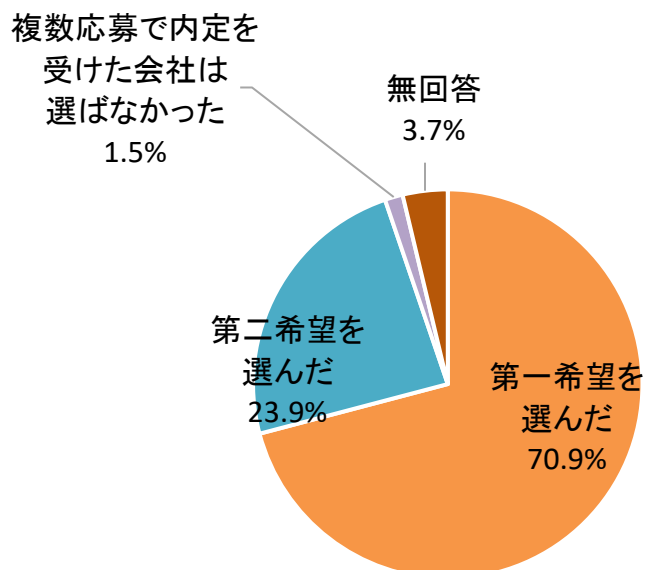
一方、「第一希望不採用、第二希望不採用」が5.6%となった。



回答項目	計		男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 第一希望採用、第二希望採用	68	47.9%	45	48.9%	22	45.8%	1	50.0%
2 第一希望採用、第二希望不採用	30	21.1%	20	21.7%	10	20.8%	0	0.0%
3 第一希望不採用、第二希望採用	32	22.5%	22	23.9%	10	20.8%	0	0.0%
4 第一希望不採用、第二希望不採用	8	5.6%	3	3.3%	5	10.4%	0	0.0%
無回答	4	2.8%	2	2.2%	1	2.1%	1	50.0%
計	142	100.0%	92	100.0%	48	100.0%	2	100.0%

6. 複数応募で採用内定を受けた会社を就職先を選びましたか。

高等学校在学中、推薦開始日(9月5日)から9月30日の間一人二社までの複数応募・推薦を利用した人のうち、「第一希望を選んだ」が70.9%、「第二希望を選んだ」が23.9%となった。

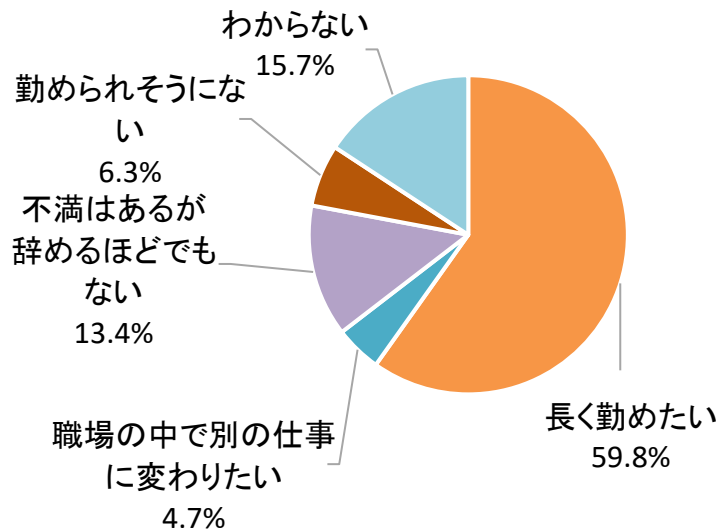


回答項目	計		男		女		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 第一希望を選んだ	95	70.9%	64	71.9%	31	72.1%	0	0.0%
2 第二希望を選んだ	32	23.9%	21	23.6%	10	23.3%	1	50.0%
3 複数応募で内定を受けた会社は選ばなかった	2	1.5%	1	1.1%	1	2.3%	0	0.0%
無回答	5	3.7%	3	3.4%	1	2.3%	1	50.0%
計	134	100.0%	89	100.0%	43	100.0%	2	100.0%

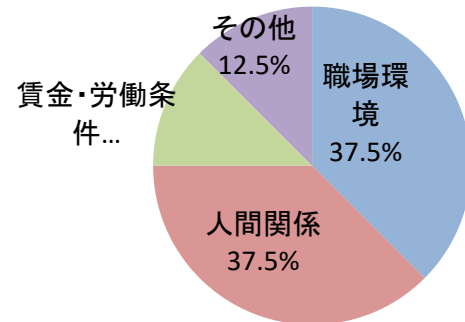
7. 今の会社に長く勤めたいと思いますか。

高等学校在学中、推薦開始日(9月5日)から9月30日の間一人二社までの複数応募・推薦を利用し、第一希望か第二希望を選んだ人の中で、「長く勤めたい」が59.8%、「不満はあるが辞めるほどでもない」が13.4%、「職場の中で別の仕事に変わりたい」が4.7%となった。

また、「勤められそうにない」は6.3%となった。



「4 勤められそうにない」理由



回答項目	計		男		女		無回答		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1 長く勤めたい	76	59.8%	55	64.7%	20	48.8%	1	100.0%	
2 職場の中で別の仕事に変わりたい	6	4.7%	4	4.7%	2	4.9%	0	0.0%	
3 不満はあるが辞めるほどでもない	17	13.4%	12	14.1%	5	12.2%	0	0.0%	
4 勤められそうにない	8	6.3%	4	4.7%	4	9.8%	0	0.0%	
複数回答	イ 仕事	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	ロ 職場環境	3	37.5%	1	50.0%	2	33.3%	0	0.0%
	ハ 人間関係	3	37.5%	0	0.0%	3	50.0%	0	0.0%
	ニ 賃金・労働条件	1	12.5%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%
	ホ その他	1	12.5%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%
5 わからない	20	15.7%	10	11.8%	10	24.4%	0	0.0%	
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
計	127	100.0%	85	100.0%	41	100.0%	1	100.0%	

その他の回答
自分の長所を生かせてない

8. 複数応募を利用した感想をお聞かせください。

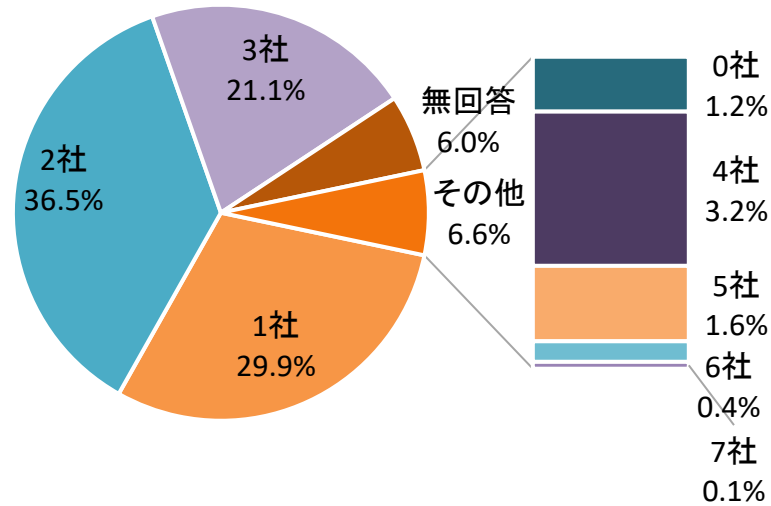
- (1) 複数応募を利用して、二社のどちらかが採用されれば良いなと思っていたので、心に余裕が持てました。
- (2) 採用の確立が上がる。
- (3) 1社受けるより2社受けた方が心が楽だと思った。
- (4) 万が一どちらかが採用されなかった場合に複数応募だと安心だなと感じました。
- (5) 2社で迷っていて、どちらか決まらなかったため2社受けました。
- (6) 色々な仕事を見学できてよかった。
- (7) とても助かります。
- (8) 自分により合った職場環境や業務内容を見つけるため、自身を見直す良い機会となりました。
- (9) 先に第二希望の会社から採用通知が届いたので安心して第一希望の会社から結果が届くのを待てたのでとても良いと思った。
- (10) 効率的に仕事探しができると思ったから。
- (11) 進路への幅が広がった。
- (12) 友人の中には片方不採用の方もいたのでいい制度だと思った。
- (13) 複数応募をすることで選択肢が増えた。
- (14) 1社不採用になってしまっても2社目が採用になったためとても良かった。
- (15) 機会が増えてうれしかった。
- (16) 便利でした。
- (17) それぞれの志望動機を覚えるのがとても大変でした。
- (18) 希望する仕事をするのができて良かったです。
- (19) 会社の内容や作業を比べられ決めやすかった。
- (20) 第一希望が落ちてしまった時のために複数応募を利用した。
- (21) 利用したことで今の仕事に出会えたのでとても良かった。
- (22) 細かいところまで比較することが出来た。
- (23) ありがたいと感じた。
- (24) 全ての事が初めてで不安だったので利用しましたが、無事に終える事ができて安心しました。
- (25) 採用をもらったのに断るのは気が引けたが、第一希望が落ちて第二希望を探して受けるよりは心が安定するので良いと思った。
- (26) 複数応募できる事が良かった。
- (27) 条件によって不可能になった部分もあったが、進路決定は早めに済ませられたのでよかった。
- (28) 選択肢が増えたので良かった。
- (29) 自分のいきたい会社を2こ受けられるからいいと思った。
- (30) 2社会社を見学して比べてみて、自分が働けそうな会社を選べるのが良いなと思った。
- (31) 1社に絞るよりも内定を得られる可能性が高まるということが良い点だとおもいました。
- (32) もし第一希望で不採用でも、第二希望があるかもしれないという点で不安が少し減った。
- (33) 一人二社見られてよかった。
- (34) 色々な会社を知れ、その中で自分に合った(個性)会社を見つけられた。
- (35) 一つに決められなかったため、複数応募ができてとても便利でした。
- (36) 似たような職種を2種類選び、より自分にあっている職場を選べたので、一人二社まで応募が可能なのはいい制度だと思いました。
- (37) 選択肢が増えて良かった。気持ち的にも第一希望が不採用の場合でも、もう一つあったので楽だった。
- (38) 希望できる所が1つだけだと受からなかった場合を考えたり、不安やプレッシャーが大きいので、複数応募ができて良かったです。
- (39) とてもよい。
- (40) 第一希望の採用の可否に対するプレッシャーを抑えられてよかった。
- (41) いろいろな方法があると思った。
- (42) 一次が駄目でもその次があるという制度は良かったです。
- (43) 自分に合いそうな仕事があることが知れて使いやすかった。
- (44) それぞれのESを書くのが大変。
- (45) 履歴書を2枚書くのが大変だった。
- (46) 2社で接客という点では一緒だったが、業務内容が違うので、志望理由などを覚えたり、特色を覚えたりするのが大変だった。
- (47) 迷う。
- (48) 大変だった。
- (49) 競争率の多い所は皆大変そうだった。
- (50) 自分に合った仕事を探す為。
- (51) 自分に合った職場を探すため。
- (52) 落ちた時のため。
- (53) より多くの会社に応募できるから。
- (54) やりたい仕事があるからあてはまっていたので複数応募を希望した。
- (55) どういう場所か確認するため。
- (56) 2つまでではなく上限なしにしてほしい。

9. 複数応募を利用して改善点などご意見があればお聞かせください。

- (1) 2つまでではなく上限なしにしてほしい。
- (2) 気になっている会社は、見学に積極的に行った方がいい！
- (3) 片方だけ複数応募を行ってないということを改善して欲しい。
- (4) 行ってみたい所をしぼるのが難しかったので自分が行ってみたい事を探したりするのがいい。
- (5) 多くの職場を見ることが出来たので良かった。
- (6) 色々な企業が複数応募を可能にしてほしい。
- (7) 効率よく就職活動ができるが、少し不自由な点もあった。
- (8) この会社に入社する人は、どんな理由で入社したいか、明確な意見を持っていることがわかった。
- (9) 最後まで迷っちゃう。
- (10) 面接内容が混ざってしまう。
- (11) いっぱい会社いったほうがいい。

10. 応募前に職場見学は何社されましたか。

「1社」が29.9%、「2社」が36.5%、「3社」が21.1%となった。



回答項目	計		男		女		無回答		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
1 1社	414	29.9%	307	35.7%	91	18.8%	16	40.0%	
2 2社	505	36.5%	287	33.3%	206	42.6%	12	30.0%	
3 3社	292	21.1%	167	19.4%	119	24.6%	6	15.0%	
4 その他	91	6.6%	44	5.1%	46	9.5%	1	2.5%	
(その他回答)	0社	16	1.2%	13	1.5%	3	0.6%	0	0.0%
	4社	45	3.2%	16	1.9%	29	6.0%	0	0.0%
	5社	22	1.6%	8	0.9%	13	2.7%	1	2.5%
	6社	6	0.4%	5	0.6%	1	0.2%	0	0.0%
	7社	2	0.1%	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
無回答	83	6.0%	56	6.5%	22	4.5%	5	12.5%	
計	1,385	100.0%	861	100.0%	484	100.0%	40	100.0%	